

## 2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸美容学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	東洋医学概論Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	前期	教室名	講義室
担 当 教 員	是石芳宏	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
東洋医学的なものの見方、自然と人体の関係性など、資格取得および、その後の治療を行うために必要な基礎知識を学ぶ。 主な内容は、陰陽五行論、病因病機、五臓六腑、四診、弁証論治、他。						
《成績評価の方法と基準》						
期末試験 100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:『東洋医学概論』(東洋療法学校協会編) 配布プリントなど						
《授業外における学習方法》						
① 教科書、プリントを熟読する。 ② 日々の暮らしの中で、四季や天気による体調の変化を観察する。 ③ 気づいたこと、学んだことについて、クラスメイトなど、周囲のひとたちと話してみる。						
《履修に当たっての留意点》						
私語厳禁、不明点はその場で質問すること。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	五臓は単独で働いているのではなく、それぞれが協調関係にあることを説明できる。	テキスト、プリント	五臓それぞれのキャラクターをしっかりと覚えなおしておく。	
		各コマに おける 授業予定	五臓の相互関係概要			
第2回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	五臓六腑について理解の上、確実に暗記する。/五臓の協調関係を説明できる。	テキスト、プリント	五臓それぞれのキャラクターをしっかりと覚えなおしておく。	
		各コマに おける 授業予定	小テスト/五臓の相互関係①			
第3回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	五臓の協調関係を説明できる。	テキスト、プリント	五臓それぞれのキャラクターをしっかりと覚えなおしておく。	
		各コマに おける 授業予定	五臓の相互関係②			
第4回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	五臓の協調関係を説明できる。	テキスト、プリント	五臓それぞれのキャラクターをしっかりと覚えなおしておく。	
		各コマに おける 授業予定	五臓の相互関係③			
第5回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	五臓の協調関係を説明できる。	テキスト、プリント	五臓それぞれのキャラクターをしっかりと覚えなおしておく。	
		各コマに おける 授業予定	五臓の相互関係④			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 五臓の協調関係を説明できる。	テキスト、プリント	五臓それぞれのキャラクターをしっかりと覚えなおしておく。
	各コマにおける授業予定	小テスト/五臓の相互関係⑤		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 五臓の協調関係を説明できる。	テキスト、プリント	五臓それぞれのキャラクターをしっかりと覚えなおしておく。
	各コマにおける授業予定	五臓の相互関係⑥		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 六腑の協調関係について説明できる。	テキスト、プリント	プリントをしっかりと記憶する。教科書の該当部位を熟読する。
	各コマにおける授業予定	六腑の協調関係まとめ/これまでの復習		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標 これまでの学習内容を理解し、一通り説明できる。	テキスト、プリント	配布したプリントを読み返しておく。
	各コマにおける授業予定	全身の気機		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 経絡について理解し、説明できる。	テキスト、プリント	経絡学の授業で学んだ内容と東洋医学について自分なりに考えてみる。共通点を見つける。
	各コマにおける授業予定	経絡Ⅰ:経絡学の教科書を併用		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標 経絡について理解し、説明できる。	テキスト、プリント	経絡学の授業で学んだ内容と東洋医学について自分なりに考えてみる。共通点を見つける。
	各コマにおける授業予定	経絡Ⅱ:経絡学の教科書を併用		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標 東洋医学において人体を害する病因について説明できる。	テキスト、プリント	必要な語句をしっかりと暗記する。
	各コマにおける授業予定	小テスト/病因病機Ⅰ		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標 東洋医学において人体を害する病因について説明できる。	テキスト、プリント	自分の体調がどのように悪くなるかを考えてみる。
	各コマにおける授業予定	病因病機Ⅱ		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 これまでの学習内容を理解し、一通り説明できる。	テキスト、プリント	これまでの学習内容を復習しておく。
	各コマにおける授業予定	前期復習		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標 これまでの学習内容について理解し、「可」以上の評価を得る。	テキスト、プリント	理解度の確認を行い、復習する。
	各コマにおける授業予定	評価・まとめ・ふりかえり		